

はにわ通信

No.370 令和8（2026）年 1月号

ナイトミュージアムのはにわ館の来館者数は
なんと…



【センターの四夜 ありがとうございました！】



回転するイルミネーション

12月6日・7日、13日・14日の4日間、「ナイトミュージアム」を開催しました。今年度のナイトミュージアムは「みえ松阪マラソン」の応援企画として行われた「松阪の一夜 in クリスマスナイト」と連携し、いつもと一味違う内容となりました。

回転するイルミネーションが設置され、子どもたちがイルミネーションに合わせて楽しそうに回る姿や、その様子を写真に収める親たちの姿が見られました。今回のイベントでは、はにわ館の来館者数

が4日間で4,500人を超え、ギャラリー

棟やはにわ館を含む松阪市文化財センターの魅力を多くの方に知っていた

だけの良い機会となりました。

また、「推しはにわを描こう」というイベントには850人以上が参加し、たくさんのイラストでクリスマスツリーが埋め尽くされました。ご参加あ

りがとうございました。

今年も皆さんに楽しんでいただける企画を考えてまいります。よろしくお願ひいたします。(担当)

【令和8年1月：「セーマン」、「ドーマン」って、知っていますか？】

平安時代の頃、天文や気象の観測にもとづき暦を作った

り、災厄を避けるための祈祷や、疫病を追放する儀式をお

こなったりする陰陽師と呼ばれる人がいました。代表的な

陰陽師としては、安倍晴明と蘆屋道満がいます。この2人

の印を持ってお守りとする風習が当時広まっていたよう

です。星形の印は安倍晴明の晴明判紋(セーマン)とされ、格

子状の印は蘆屋道満(ドーマン)の九字紋とされ、縦4本

横5本の線で表されます。松阪地域でもこの陰陽師の文化

があつたようで、平安時代や鎌倉時代の頃の遺跡から、た

まにセーマンやドーマンの痕跡をみることができます。図

版のものは、阿形町の遺跡の井戸の中から出土したセーマ

ンの木札です。この印は今では松阪付近では見られません

が、伊勢志摩地域では海女漁法のお守りの印として今でも

残っています。

はん 版のものは、阿形町の遺跡の井戸の中から出土したセーマ

ンの木札です。この印は今では松阪付近では見られません

が、伊勢志摩地域では海女漁法のお守りの印として今でも

残っています。